

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	教育部次長兼教育総務課担当課長 齋藤 和徳	
教育-07 中学校施設管理運営事業		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課	教育総務課
総合計画上の位置付け		分野	関連課	学校施設課
		学校教育	施策の方針	
			教育内容・教育環境の充実	

1 事業の目的

対象	市立中学校9校
意図	安全で良好な教育環境を確保するため。
効果	生徒たちが安全・安心な状態で教育を受けられる環境を整える。

2 平成27年度に実施した事業の概要

中学校9校分の光熱水費、電信料等を執行した。
------------------------

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳) ・各年5月1日
事業の対象者数	3,447人	3,465人	3,465人	3,465人	3,504人	3,504人		
運営資源状況	決算値(千円)	51,338	46,325	46,325	当初予算(千円)	53,924		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他	2,071	2,204	2,204	その他	2,117		
	一般財源	49,267	44,121	44,121	一般財源	51,807		
	人員配置数	0.3	0.3	0.3	人員配置数	0.3		
	人件費(千円)	2,282	2,283	2,283	人件費(千円)	2,323		
事業経費運営	総事業費(千円)	53,620	48,608	48,608	総事業費(千円)	56,247		
	市民1人当りの経費(円)	302	274	274	市民1人当りの経費(円)	318		
	対象者1人当りの経費(円)	15,556	14,028	14,028	対象者1人当りの経費(円)	16,052		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入 △-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施 △-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す ⇒ <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容 事業へ統合
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 安定した学校運営を行うための事業であり、予算規模についても年度間での激変的な増減をすることなく安定的な予算措置が必要である
総評(評価に対する考え方、根拠等)	学校も、光熱水費の削減に向けた取り組みを実施しており、今後も空調設備の導入により電気代の増大が見込まれるため、学習環境に影響のない範囲で適切な使用を求めていく必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	天候、気温に左右され、変動が大きい。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	節電・節水を徹底することにより、経費及び環境負荷を軽減した。 執行状況を速やかに把握し、学校での使用に不都合がでないよう対応を図った。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	光熱水費の削減に向けた学校の取り組みを支援する仕組みを考えていきたい。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	学校光熱水費の使用実績の周知					単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
学校へ光熱水費の使用実績を周知することで、削減に向けた取り組みに活用してもらうため。	目標値	4	4	4	4	4	4			
	実績値	4	4							
	達成率	100.0%	100.0%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方										

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---